

前回の研修「自閉症児とともに生きる」は、こんな内容でした。

Ta-a-ta 研修会報告

研修名：「自閉症児とともに生きる」

講師：向井 崇（財団法人 東京カリタスの家 こども相談室）



《 内 容 》

- ・ 自閉症児の特性を理解して接して下さい。
- ・ 日常の自分の経験と知識から接すると、自閉症児には無理な適応を強いてしまい、こころを閉ざしてしまう危険性があります。
- ・ 「まなけている」「我がままを言っている」「指示しないと行動しない」ように見える
→ でも、「何を要求されているかわからない」
「状況や人の気持ちが読めない」
「すべきことを体系化して考えることが難しい」
ということを理解して下さい。
- ・ 氷山の、見えないところに何が隠れているかを、好意を持って探ってください。
- ・ 無理強い、否定、暴力以外は、なんでも ゆっくりと やってみてください。
そして、どうすれば分かりあえるかを、根気よく探してください。

「自閉症の専門家」ではなくて、「その児童の専門家」になってください。

《 ワーク 》

1. 「ガンダラムジムジ」
2. 「トイレに連れて行って下さい」
3. 「色とその意味とがちぐはぐになっている文字列」
4. 「これはなんですか」
5. 「シングルフォーカス」

前回の研修「自閉症児とともに生きる」は、こんな内容でした。

1. 「ガンダラムジムジ」

① 自閉症児役の人を選びます。いったん部屋から出ていてください。

② 残った人たちは、次のことを約束してください。

* 何を聞かれても、「ガンダラムジムジ」とだけ答える。

* 合図をした後は、手で戸を開けるしぐさをする。

③ 自閉症児役の方、中に入ってください。

④ 「何をしたらいいですか？」と、聞きまわってください。

「何をしたらいいですか？」 「ガンダラムジムジ」

「何をしたらいいですか？」 「ガンダラムジムジ」

・
・
・
・

自閉症児役の人の戸惑う顔

⑤ 合図

⑥ 「何をしたらいいですか？」 手で戸を開けるしぐさ

「何をしたらいいですか？」 手で戸を開けるしぐさ

・
・
・

すると、『あーあ、わかった！』というしぐさを自閉症児役の人がしました。

⑦ どう感じましたか？

自閉症児役の人には？

「どうしたらいいか分からず、とても不安になった」

「外国に来たようだった」

「意地悪されているようだった」

「イライラしてきた」

・
・

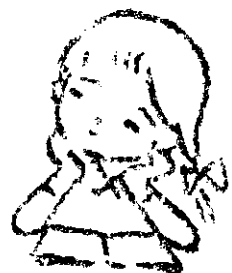
他の皆さんは？

「何回も言ってるのだから分かりそうなもんだと思った」

「言葉だけで伝えるのは難しい」

「もっと困らせてやれ と思った」

・
・



前回の研修「自閉症児とともに生きる」は、こんな内容でした。

2. 「トイレに連れて行って下さい」

- ① 一日保育に初めて参加する自閉症児がいます。
 - * 言葉が理解できない。
 - * 音に敏感
 - * なんでも口に入れる
 - * 小学5年生男子
 - * 尿意・便意を教えない
- ② 講師が自閉症児役になります。
- ③ 5分間 部屋から出ています。
- ④ その間に、トイレに連れて行くにはどうしたらいいかをみんなで話し合ってください。→ 退室する。
 - ・ 彼が来た時に受入れる人 を決める。
 - ・ 母親役 を決める。
 - ・ 受入れ役の人は、母親から情報を得る。
食事はいつしたか、家でトイレはどうしているか、などなど
 - ・ 口に入っては困るものを取り除こう
 - ・ 携帯カメラにトイレを写して 彼に見せよう
など
- ⑤ 自閉症児が来所
 - ・ 母親役に連れられて 入室
 - ・ こんにちは、と母親役
 - ・ 声を上げて手をパチパチ打ち 飛び跳ねる自閉症児
 - ・ 受入れ役が 母親役に情報を訊く
 - ・ そのそばで 自閉症児は いっそう大声を上げて手をパチパチ打つ
 - ・ 一人が自閉症児のそばに行き 声を掛ける
 - ・ 受入れ役が母親に見せていた携帯を 自閉症児がいきなりつかみ口に
 - ・ 母親が「だれか早く連れてって！」と訴える
 - ・ 手をとって遊びに誘う
- ⑥ 自閉症児からの訴え
 - ・ 母親と話している間が耐えられなかった
 - ・ 携帯のトイレの写真を見てもピンとこない
 - ・ 具体的なトイレトペーパーのほうが分かりやすい



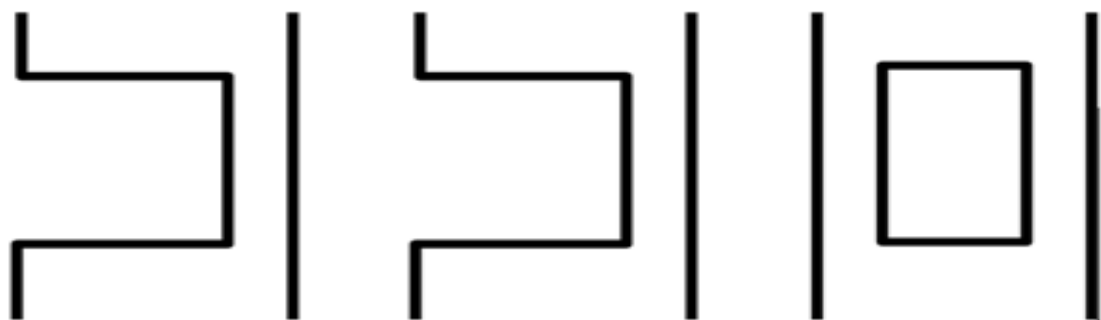
前回の研修「自閉症児とともに生きる」は、こんな内容でした。

3. 「色とその意味とがちぐはぐになっている文字列」

- ・ 画面いっぱいに色を表す文字が並び、文字には色が付いている。
- ・ しかし、よく見ると付いている色と表わす色とは異なっている。
あか しろ くら きいろ だいだい のように
- ・ 参加者に読んでもらう
→ とまどわずに読む参加者
- ・ 自閉症児は 付いている色にとまどい 読めなくなってしまう。

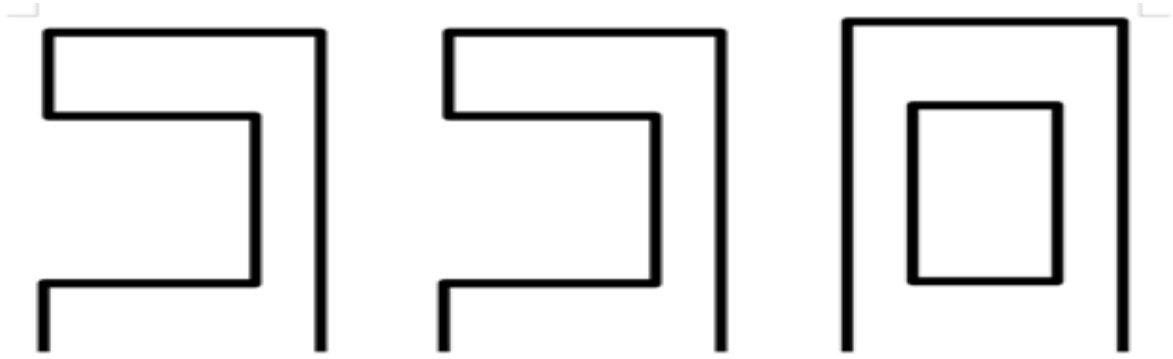
みどり オレンジ くら しろ
あか きいろ ももいろ
ちゃ あお

4. 「これはなんですか」



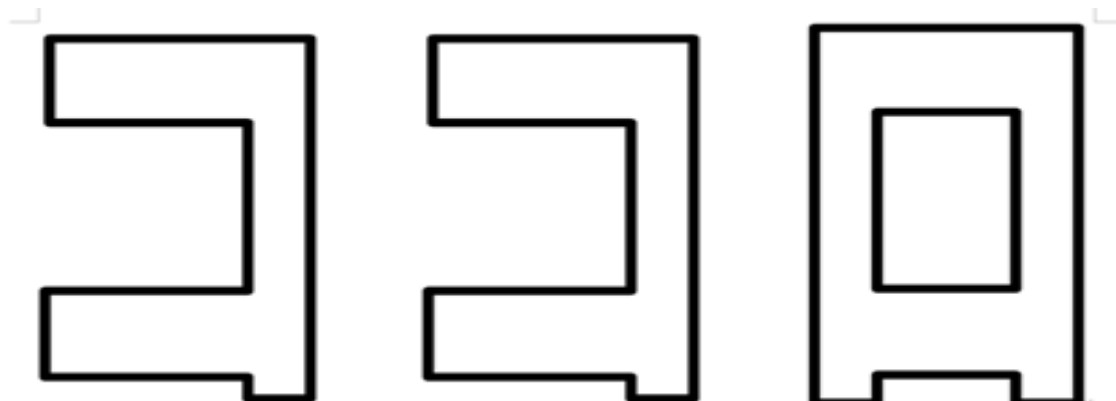
前回の研修「自閉症児とともに生きる」は、こんな内容でした。

これなら わかりますか？



前回の研修「自閉症児とともに生きる」は、こんな内容でした。

これでは どうですか？



- ・ 自閉症児は、見えないものを想像することがとても困難です。

5. 「シングルフォーカス」

■ 画面（1）

中央に 胸から上のこどもの絵

こどもの絵は クリスマスリースのような輪に囲まれている

輪を良く見ると それは ちりばめられた数字のあつまり

中央の こどもの絵は ちびまるこ に似ている

- ・ この絵の中に 6 の数字がひとつあります。探してください。

なかなか見つからない ……

「あった！」とちらほら

しかし まだ見つからない人が ほとんど ……

- ・ 皆さんは
数字が並んでいるドーナツ状の数字群を
一生懸命見つめていましたね
- ・ 6の数字は 女の子の口 でした。
- ・ 数字は数字の群れの中にあると思ひ込み、他に目がいきませんでした。

前回の研修「自閉症児とともに生きる」は、こんな内容でした。

- ・ なかなか見つからない時、どんな気持ちでしたか？

■ 画面（２）

- ・ 画面を見ていてください

① まっしろな画面

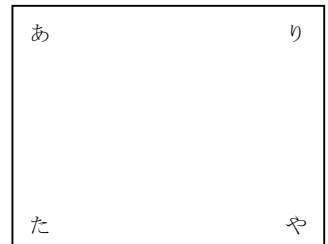
② 左上角に 小さな字で あ が現れて すぐ消える

③ 右上角に 小さな字で り が現れて すぐ消える

④ 左下角に 小さな字で た が現れて すぐ消える

⑤ 右下角に 小さな字で や が現れて すぐ消える

画面に近い人は 上下左右に目を大きく動かしている



- ・ 文字が現われたことに みなさん気がつきましたね

- ・ 今度は 真中をじーっと見つめてください

⑥ 真中に ピカチュー が現れる

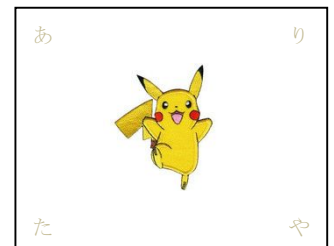
⑦ 左上角に 小さな字で あ が現れて すぐ消える

⑧ 右上角に 小さな字で り が現れて すぐ消える

⑨ 左下角に 小さな字で た が現れて すぐ消える

⑩ 右下角に 小さな字で や が現れて すぐ消える

みな視線は 画面中央に 集中している



- ・ いかがでしたか？ 現われた文字が 分かりましたか？

気付かなかった

なにか出てきたようだったが なにだったのかは分からなかった
の声

- ・ 自閉症児の見え方は このように 一点集中です

